

取組主体の概要

- 事業主体(協議会)名
東米良地区農村RMO実行委員会(仮称)
- 事務局
NPO法人東米良創生会
- 対象集落数
12集落
- 協議会の構成員
 - ・東米良地域づくり協議会役員会
 - ・各地区実行委員会
 - ・NPO法人東米良創生会
 - ・(株)農業法人かぐらの里
 - ・石川林業
 - ・米良産魚
 - ・東米良地区猟友会
 - ・社会福祉法人善仁会東米良仁の里
 - ・西都市

これまでの取組状況

・2年前より「1000年続く村東米良創生プロジェクト循環型山村づくり」というビジョンを掲げ、東米良地域づくり協議会で地域課題を協議し、課題解決の実行部隊としてNPO法人東米良創生会を窓口 to 様々な活動を展開中

・令和2年から、農地保全、住民の移動支援、買い物支援、簡易宿泊所運営・飲食店運営、配食サービス、移動美容室支援、神楽支援等を実施

将来ビジョン作成に関する取組内容

【①農用地保全】

現在のビジョンには、農用地保全体制や担い手の確保や労働力配分などの方針が不十分であり、この部分を補強するためのワークショップの開催

【②地域資源活用】

協議会において、作成した将来ビジョン及び行動計画の進捗や改善等について協議を行う。

【③生活支援】

協議会において、作成した将来ビジョン及び行動計画の進捗や改善等について協議を行う。

事業取組計画

○1年目

無人販売所の需要量調査・遠隔システムを備えた無人販売所の試験運用、年間労働力需要量調査を通じた労働力確保計画の作成、ゆず園の保全体制構築のため、ウェアラブルカメラなどIT機器を活用した熟練農家の栽培技術継承支援環境整備の調査・検討、鳥獣の生態・利活用調査、ドローンによる鳥獣追い払いの調査・実証 等

○2年目

出荷困難な高齢農家等の販売品の代行出荷体制の実証、買い物困難者が身近な地域に必要なものを購入できる体制や観光客等が農作物や特産品を購入できる仕組の実証実験、効率的な労働力確保のためのシステム開発・実証、熟練農家の栽培技術継承支援システムの実証、鳥獣への有効な被害防止策の検証、有効なジビエ捕獲実証実験 等

○3年目

改良したシステムによる管理を実証し、自走に向けた管理体制の構築、労働力確保及び鳥獣被害対策を活用した、農林地保全体制の構築

伴奏支援

関係機関の支援体制

宮崎県、西都市、関係機関・団体等と情報共有し、一体的な支援を予定

事業実施後の目標

- 事務局を担当する東米良創生会を窓口 to 各事業の収益化を目指す
- 地域内外から賛助会員を募り、会費により地域課題の解決による東米良地区の村おこしに寄与する活動を実施

【①農用地保全】

- ・年間必要労働力の視覚化を通じ、地域雇用計画を作成
- ・熟練農家の技術情報を集約し、システム化の検討案を作成

【②地域資源活用】

- ・出荷希望農家数・販売品目・品数の試算表作成
- ・東米良の地場産品の選定と販売計画案を作成

【③生活支援】

- ・直売所利用希望者数・希望品目・利用頻度調査による設置場所・時間等の運営案を作成
- ・出荷希望農家のうち出荷困難農家の支援体制案の作成